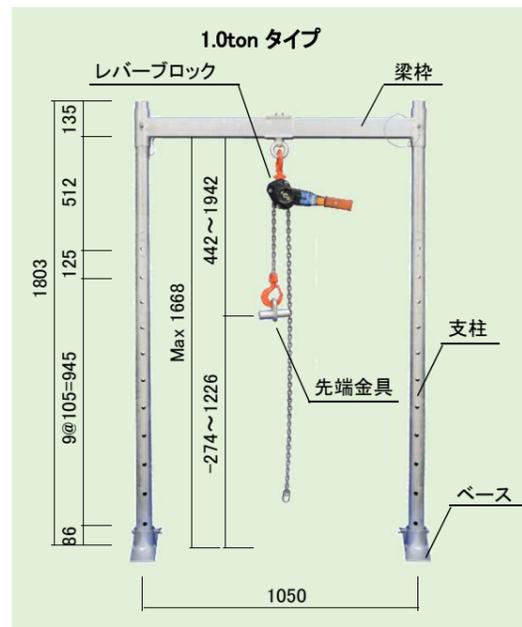
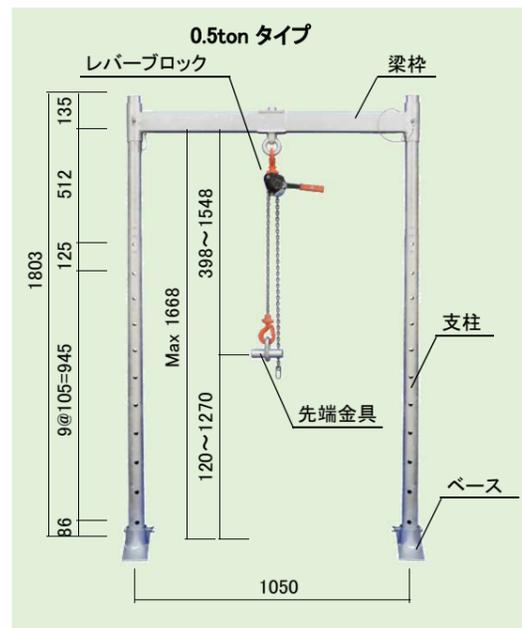
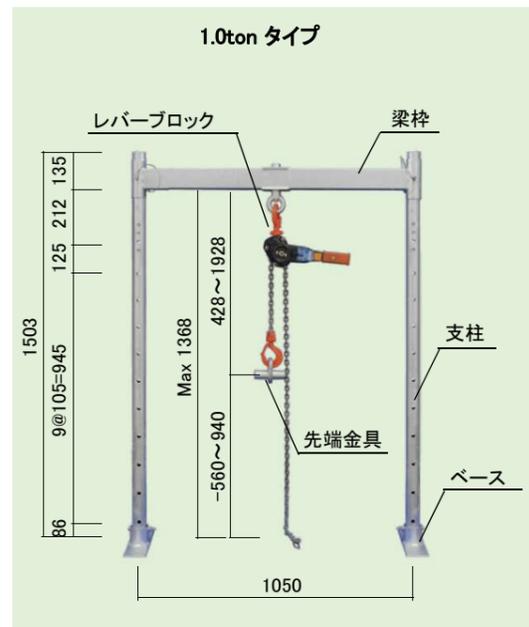
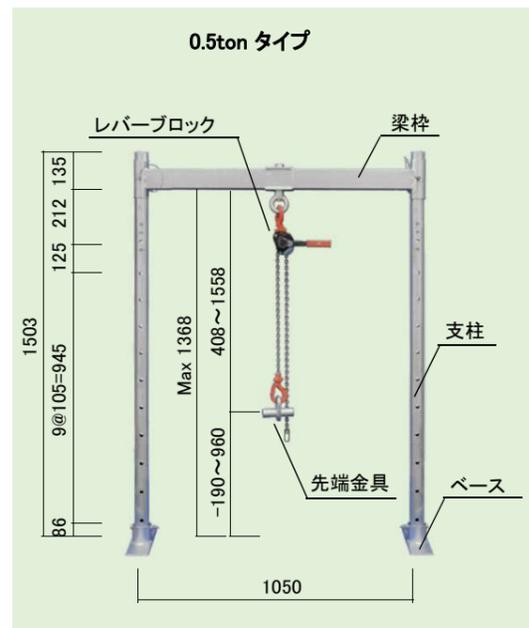


スラブ型枠上で作業ができますので、組立精度、作業効率が向上します。
左右に段差のある場合には、ベースを外してジャッキベース等をご使用ください。
外周の梁筋の作業では、片側を足場から支持して使用できます。

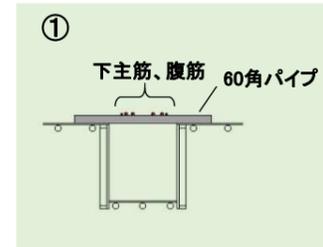
許容荷重 0.5ton タイプ 500 kg
1.0ton タイプ 1000 kg

1500 タイプ			
機種	品名	1set 数量	
	品番	0.5 ton	1.0 ton
型枠	H-01N	1	1
支柱	H-02N	2	2
ベース	H-05N	2	2
レバーブロック	LB-0.5T	1	
	LB-1.0T		1
先端金具	H-06N	1	1

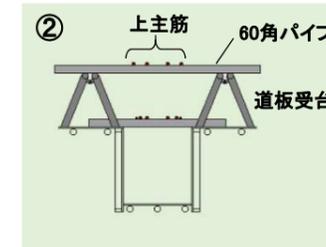
1800 タイプ			
機種	品名	1set 数量	
	品番	0.5 ton	1.0 ton
型枠	H-01N	1	1
支柱	H-02NH	2	2
ベース	H-05N	2	2
レバーブロック	LB-0.5T	1	
	LB-1.0T		1
先端金具	H-06N	1	1



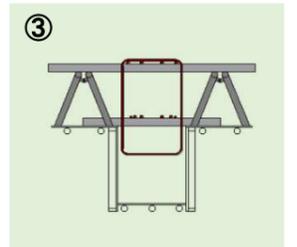
◆ 使用手順例



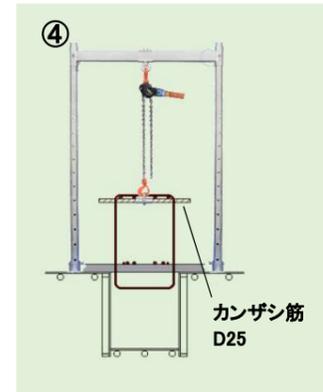
下主筋、腹筋を仮置きする。



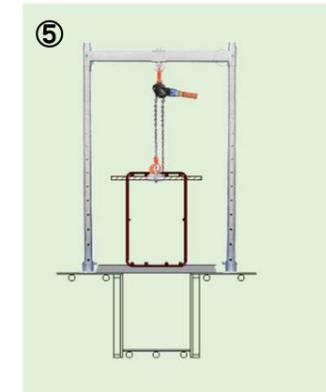
両側の道板受台に60角パイプを渡し、上主筋を仮置きする。



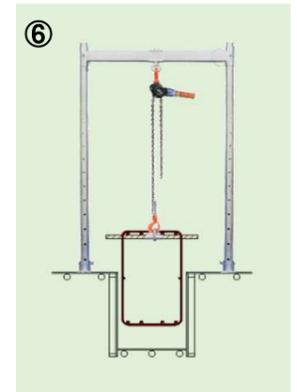
スターラップを配置し、上主筋を結束する。



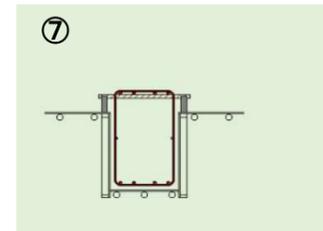
配筋架台を3~5m置きにスラブ上に配置し、レバーブロックを巻上げ上主筋とスターラップを持ち上げる。



下主筋、腹筋の結束する。

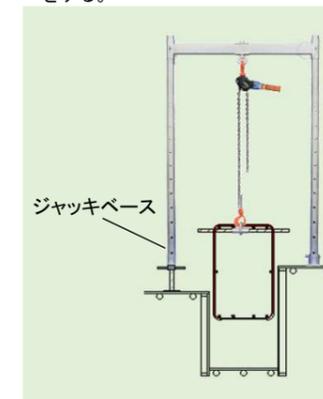


結束完了した梁鉄筋を吊下す。

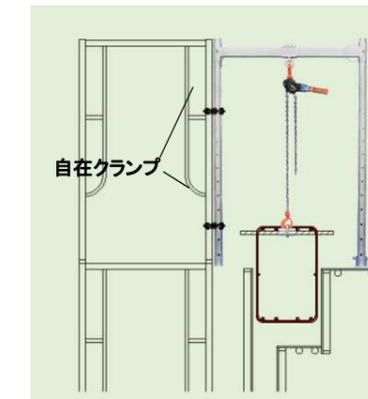


カンザシ筋をスペーサーの上に置き、配筋架台を取り外す。

段差のある場合
片側にジャッキベース使用し高さ調整をする。



外周梁の場合
外部足場を利用し、自在クランプで設置する。



道板受台 T-600 9.5 kg
許容荷重: 9.8kN

